



# すたなか



## 親子ふれあい



## 凧づくり 凧あげ大会 開催



↓ 新津中学校校庭



2006年2月19日(日)新津中学校の体育館で凧づくりに熱中しました。今回は、たこにちなんで、たこ焼きのプレゼント。終始和やかな雰囲気の中で、簡単に出来上がりました。大空を舞う凧に元気いっぱい駆けまわる親子の姿が……。とても楽しいひとときを過ごしました。(関連記事2ページ)

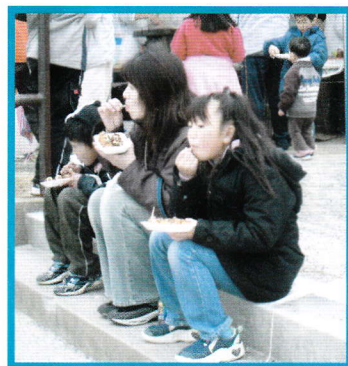
## ～天まであがれ!!～



↑ たこ焼き・焼きソバ・フランクフルト。とてもおいしかったです。刈田山笠青年会の皆さん、ご協力ありがとうございました。



↑ お父さんも一生懸命!!  
「色めりはぼくにまかせて。」



↑ 寒空の下で食べるたこ焼き。  
心も身体もぽっかぽか。

心豊かで  
たくましい 青少年の育成を目指しましょう。



# みんなの力で 守ろう かんだっ子

## 苅田町全小学校通学路で

### 一斉チェックが実施されました

行橋警察署の依頼により12月11日（日）に苅田町の各小学校において、管内通学路の防犯一斉チェック活動が行われました。これは、小学生をねらった事件が続発していることを受け、再発防止対策の一環として学校、家庭、教育委員会、地元防犯ボランティアなどの活動機関が連携して、町内全小学校通学路の危険箇所を点検し、今後の防犯活動に生かすことを目的として実施されたものです。

当日は、行橋警察署署員、当苅田



町青少年育成町民会議の会員、区長さん、婦人会の皆さん、学校職員、教育委員会職員、保護者の皆さんなど多くの方々の参加がありました。

また、上空からは、警察の航空隊が通学路のビデオ撮影を行いました。

各学校に集合した後、9時から11時まで、参加者全員で各学校の通学路をくまなく点検し、防犯灯や見通しの悪い箇所、公園などの様子をきめ細かくチェック表に書き込みました。多くの人の目で通学路を点検することで、これまでに気付かなかった危険箇所が明らかにしたり、注意が必要な箇所の共通理解を深めることができました。冷え込みの厳しい中、参加された方々におかれましては本当にご苦労さまでした。また、貴重なご意見ご示唆をいただき、ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

点検の結果は行橋警察署の生活安全課に提出し、今後の防犯対策に生かしていくことになっています。

苅田町から子どもたちを狙う犯罪を一掃していくためにも、「子どもの安全を守るのは、みんなの力で・地域の目で」を合い言葉に、子どもの目線で地域を再点検していただき、町民みんなで苅田の子どもを守りたいですね。

## ～どんど焼き～ 特別補導

2月12日(日)  
与原 白庭神社



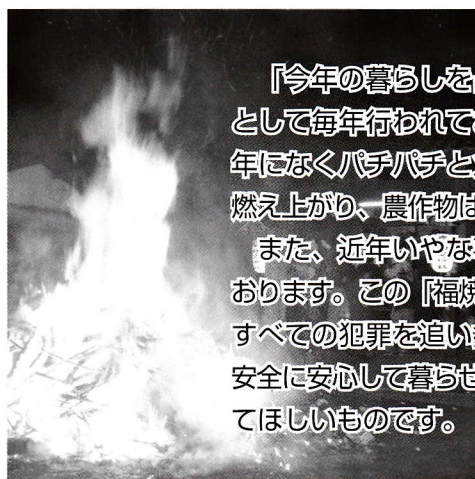
補導環境部会の委員の方々



生徒指導研修部会の委員の方々



『今年の暮らしを占う福焼神事』として毎年行われており、本年は例年になくパチパチと火花が威勢よく燃え上がり、農作物は豊作のようです。また、近年いやな事件が多発しております。その『福焼神事』の勢いで、すべての犯罪を追い払って、人々が安全に安心して暮らせる世の中になってほしいものです。



2/19 たのしかった  
親子ふれあい  
凧づくり凧あげ大会

(1ページ関連記事)

当日の天候は曇りで肌寒い中でしたが、多くの家族の方々にご参加いただきありがとうございました。参加者より、当日の感想文を書いていただきましたので、ご紹介します。



たのしかったよ たこあげ

馬場小2年 やひろ ゆうき

たこづくりは、むずかしかったけどできたときは、すごうれしかったです。そしてたこをとばしたらおねえちゃんよりもいっぱいおもしろい。そしてかえっておねえちゃんがまた、たこをばしにいかないとさそってくれた「いいよ」とほくがいて、たこをばしにいきました。

またおねえちゃんよりたこがとびました。すごしたこがとんだのでうれしかったです。

毎月第3日曜日は

「家庭の日」



# 子どもたちに今必要なものは？

今、子どもたちを取り巻く環境を考えたことがありますか。



## 荻田町子ども会育成連合会

会長 田口朝子

近年、経済が発達し、生活も多様化し、田舎も都市化し、昔のあそびの広場は駐車場化し、道路は車に占領され、お金があればあれもこれも欲しいものは簡単に手に入りやすくなっています。

また、核家族化が進み、家事・育児などにおわれその結果として母親に負担がかかり、「子どもを育てるのは大変」となっているのではないのでしょうか。時代が多様化の中にいて、親の人生観の価値観も変わり、自分中心の傾向が見受けられます。それらもあり、少子化に滑車がかかっているのでは、……と考えることもあります。一番弱く、何も知らない子どもたちが都市化、多様化の時代を受け、近頃の事件として、現れているのではないのでしょうか。

現代は、無作法、無感動、無責任、無関心、無気

力の五無主義の子どもが増えているとよく言われます。全国子ども会連合会の本の中に現代の子どもたちは「遊ばず、学ばず、働かず…三ズの川まで渡ってしまった」のでは…と書いてあります。「よく遊べ、よく学べ」の言葉は、どこにいったのでしょうか。

昔、「よく遊べ」を大声で、「よく学べ」を小声で友だちとハモっていた事がありました。とてもなつかしいです。「落ちこぼれが心配で成長の道しるべを忘れていないのではないのでしょうか。3歳で学ぶべきこと、7歳で学ぶべきこと、中学生で学ぶべきことがあると思います。慌てず、子どもの様子を見届けながら一步一步育てたいですね。子育ては、親育てとよく言われます。子どもが知らないことは、出来ないし、理解出来ないのです。自立出来るように一步一步と、自然や生活の中、社会の中で体験、体感し、積み重ねて、一人の人格として、リッパな社会人になって、幸せになってほしいですね。私たち大人ももう一度子どもの変化を楽しみながら、一緒に成長することを心がけたいものです。

## はっちゃんれ劇団員募集中!!

「子どもたちの発言力、表現力をさらに豊かに」と題して、劇団を立ち上げました。興味のある子は連絡ください。

活動期間：06年4月～07年3月までの1年間

練習場所：三原文化会館

日時：火曜日17時～19時（2回/月）

対象者：小学生4・5・6年生

参加費：無料

連絡先：荻田町子ども会育成連合会 事務所

TEL 093-434-0061（中央公民館）

携帯 090-4589-3200（田口）



今回の研修は、ボブスレーと草スキー。どちらもスピードの体感を試みることに企画しました。特にボブスレーは、スピードがあり、危険の多いスポーツに子どもがどこまでチャレンジできるか。とても楽しみでした。なんと、意に反して子どもは素晴らしい。感激です。

子どもたちの作文は「こわい」から「滑れてうれしい」に変わっています。自分なりに克服できて、滑る姿はとてもカッコ良かったです。来年もまた企画しようかなあと思うスタッフの思いです。

## 夜須高原宿泊研修会

場所 国立夜須高原少年自然の家

期間 2月25日・26日

主催 荻田町子ども会育成連合会  
共催 荻田町立中央公民館



港まつり：パレード

いかだ大会

子どもフェスティバル



いかだつくり

## 子どもたちのいろいろ







# 片島小学校

## ふるさと学習 片島が大好きな子を育てよう。

片島小学校では、自分のふるさとのよさを自慢できる児童を育てています。総合的な学習の時間の中の年間12時間を使って、1・2年生は地域の方の読み聞かせ、3・4年生は地域の伝承文化である天神神楽、5・6年生は地域の方が主催する俳句会で俳句を作っています。



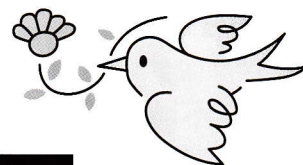
### 5・6年 (俳句)

町の俳句会(あすなろ会)の方が5・6年生全員に季節の俳句づくりの指導をしています。児童は、友達の俳句に感心したり、自分のを自慢したりしながら楽しく創作活動をしています。豊かな片島の自然ならではの俳句を作っています。



### 3・4年 (天神神楽)

3・4年生は、片島校区の人々が町おこしとして熱心に行っている「天神神楽」を地域の指導者の方に習っています。写真は、演目の一つの「おろち退治」の練習風景です。鳴りもの(横笛など)をする人(3年生)、踊る人(4年生)に分かれて練習します。神楽の継承者になることを願っています。



### 1・2年 (お話を聞き、感想を述べる)

1・2年生は、校区内のお母さんたちで作られた読み聞かせグループ(ドリームランドさん)からお話を読んでもらって、みんなで、感想を述べ合います。全員が感想を素直に言える子どもに育てたいと思っています。子どもたちは、わくわくした表情でこの日を待っています。



ふるさと学習は、自分や地域を誇りに思う自尊心や郷土愛をもち、国際人として世界に視野を広げ、地域と世界をつなぐ子どもを育てることをめざしています。そのためには「片島の子」であるというアイデンティティーを確立させる必要があると思います。片島小学校では、この各学年ごとの活動を通してふるさが大好きな児童を育てようと思っています。



# 地域で守ろう子どもの安全

## 緊急連絡



ここ数年、子どもが狙われる事件が数多く発生しています。  
最近では、11月22日(火)広島県、12月2日(金)栃木県と2週にわたり小学校から下校途中の小学生女児が殺害されるという痛ましい事件が発生しました。  
大切な子どもを犯罪の魔の手から守るため、保護者の皆様と関係機関が連携した「子どもを守る活動」を積極的に展開しましょう。

## 子どもへの防犯指導

### 5つのやくそく

- ①知らない人について行かない
- ②学校の行き帰りは一人にならない
- ③一人で遊ばない、必ず友だちと遊ぶ
- ④外で遊ぶときは、おうちの人に言うてから遊びに行く
- ⑤連れて行かれそうになったら「大声」を出す



## 子どもに繰り返し教えて、身につけさせましょう

## 保護者・地域の皆さんへのお願い

- ①子どもを地域ぐるみで守りましょう
  - ・登下校時の見守り活動を行いましょう
  - ・通学路や公園などの安全チェックをしましょう
- ②不審な子供連れには一声かけましょう

## 不審者(車)を見たら一声かけて、状況によっては110番しましょう

## 福岡県警察メール配信システム



メールの登録は**こちら**から

<http://www.police.pref.fukuoka.jp/mailmg/>

福岡県警察メール配信システムは、警察本部又は警察署から地域の安全に関する情報を「パソコン」又は「携帯電話」に配信するサービスです。

- ・現在、お持ちの「パソコン」又は「携帯電話」からサービスの登録ができます。
- ・登録は無料ですが、メールの送受信及びホームページ閲覧にかかる通信料が必要です。
- ・情報の配信は12月9日から開始しています。

## 行 橋 警 察 署

☎0930-24-5110(代)

## 行 橋 京 都 地 区 防 犯 協 会

行橋京都安全まちづくり推進協力会

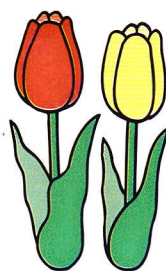


すこやか編集委員会の様子

三役・部会長会議の様子



荻田町青少年育成町民会議では、年間の行事や身近な問題など推進・具体化していくため、役員会を開催しております。



## 役員会

## 編集後記

小学校に通う「兄弟二人」と、九十才「人暮らしの老婦人」との、心温まる「三年間」についてお知らせします。

十六年の秋の夕暮れ、学校帰りの温人君が、杖を片手に雨戸を開けている老婦人を、見かけたのがはじまりでした。

温人君は老婦人と一緒に、雨戸を開けました。翌夕、温人君は弟の福徳君と二人でやって来て、『庭を掃き』『雨戸も閉め』ました。十六年が過ぎ、十七年が過ぎ、今年春のことです。あんなに元気だった老婦人は、十日位の入院であの世に、旅立って逝かれました。この老婦人、いつも笑顔で、誰にも優しい方でした。私は温人君に会いたくて、白川小学校に行きました。廊下で、七、八人の子どもたちと会いました。「こんにちわ、こんにちわ、こんにちわははは。」みんなで、元気な声をかけてくれました。

その中に、一際大きい温人君の「優しい笑顔」に会えました。あの優しい老婦人と、この温かい温人君だから三年間、きつと「ひ孫」と「お婆ちゃん」の、ように楽しい夕暮れの一時を過ごせたんだと思います。この三人の結びつきこそ、『少子高齢社会の現在』に、無くてはならないものと思えてなりません。

誰でも出来る『笑顔』努力すれば出来る『優しい言葉遣い』ははじめませんか。

(編集委員長 本多 澄子)

## 編集・発行

荻田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会

☎093・434・9838